SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：有限会社　親和商事　郷土料理青柳

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		半期毎に経営理念に沿った経営方針を発表、全社員で共有。それに伴い全社員が半期の目標設定、毎月進捗管理と面談を行う。期末に成果を全員で共有し投票して表彰する。評価と昇給に活かしている。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		食品衛生法に則った厨房衛生環境の整備、スタッフの衛生管理行動を毎日チェック。消防法、建築基準法に則った客室設備や換気基準を満たしている。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		仕入先業者に対して相見積もりを公平に行うため、他社の情報を流さないないよう、また、交渉で無理な買いたたきをしないよう指導している。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		社長以下、女将（営業・顧客管理）、マネージャー（店舗運営管理）、料理長（仕入原価管理、献立立案）など責任と権限を明確にしている。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		熊本城本丸御膳、もったいなかつおの商標登録を取得している。								8.2 8.3	9								
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		予約表用紙はシュレッダー処分している。 クラウド予約管理システムはパスワードで管理している。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		お客様の声を毎日社内チャットツールにて「日報」として共有し、ニーズの把握や改善などに活かしている。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	野菜等は生産農家に直接仕入れに行っており、環境についての認識を農家とも共有し、規格外の野菜も商品化し店内で提供している。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	【予定】2022年6月までにBCPの策定。 建物6階部を災害用備蓄倉庫や帰宅困難者避難所として開放できるようにしている。									9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●									8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		幹部（男性2名　女性3名）、全社員（男性11名、女性12名）、パートアルバイト（男性5名　女性17名）、障がい者就労支援　（毎日5名受入れを7年継続）で平均年齢44歳。朝礼や懇親会で交流を図っている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		毎日の清掃徹底。特に階段、厨房に物を置かないこととしている。清掃箇所と戸締りチェック箇所の確認表を毎日記入している。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		従業員について公正な待遇をしている。 通勤費についても、通勤距離に応じて公正に支給している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		労働時間管理で時短について、生産性向上も含む認識を統一するため、2021年1月より社長主催の勉強会を開催するなど、業務のマルチ化に取り組んでいる。 アルバイトの戦力化も盛り込み推進している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		月1回（1時間）、全社員参加の社内勉強会を実施している。年次計画や階級ポストに応じた社外研修は希望者により受講可としており、研修費、交通費、宿泊費は会社負担としている。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		年に一度の健康診断を提携病院にて実施している（経費補助）。また、冷暖房付きの休憩室を設置し有効に活用してもらっている。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		全従業員の女性比率は64％。60歳以上社員が6名。障がい者就労支援施設からの受入は7年継続している。 【予定】2022年3月、ミャンマーの特定技能生を受入れる。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	予約受付スタッフは令和2年4月以降自宅でのテレワークを継続している。令和3年1月以降は3パターンの時差シフトを導入済み。経営者所属団体打ち合わせや、社外研修参加はすべてオンラインによる参加にしている。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	2021年3月から東京の副業人材事業者を活用しIT化を進めている。予約システム、経理システム、ネット販売、テイクアウト販売等での活用を行っている。								8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●	認定を取得している。 （認定期間：2016年11月16日～2022年10月16日）			3	4				8	9			12					

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：有限会社　親和商事　郷土料理青柳

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		食事提供していた「とらふぐ」に、調理の過程で毒物等の分別処理が生じるため、分別処理は専門仕入業者に委託し弊社では扱わないことに変更した。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		電力やガスの使用量は、月ごとに把握し電力会社やガス会社との契約の見直しやピークカットによる削減に取り組んでいる。 【予定】2022年3月までに新電力契約への切り替えを行う。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		簡易計算シートにより、自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出量の削減に取り組んでいる。 現在、割りばしの竹炭化でCO2削減に取り組みずみ。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		季節ものの野菜や鮮魚は、市場に出荷されたものを購入し、大きさの融通や極度な量を要求せず適切な仕入れを行うようにしている。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		野菜屑、魚屑は産廃業者と契約し定期的に回収を依頼し、すっぽんのえさ用に加工している。現在300匹ほどのえさに活用中。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		循環型滝オブジェを入口に設置し、水資源保全に取り組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		調理過程で、出汁をとった後の鰹節を再利用し、ふりかけ「もったいなかつお」として製造販売している。1日平均5kgのごみの削減となっている。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	調理過程で、出汁をとった後の鰹節を再利用し、ふりかけ「もったいなかつお」として製造販売している。1日平均5kgのごみの削減となっている。 また、規格外の野菜を使って商品化している。	1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	自社店舗ビルの4階、5階に庭を設営し緑化の創出に取り組んでいる。日々の管理および、月に一度専門業者での手入れを行い管理保全している。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	エコネットシステムを設置している。全館LEDを利用し効率化を図っている。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●	お客様にご使用いただく割りばしは国産杉を使用し、会食後は回収し洗浄・乾燥させて竹炭化し消臭用として使用している。						6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	ストローはプラスチック製品から、竹ファイバー製品に変更し、プラスチックごみの排出を減少化した。また、プラスチック製買い物袋の有料化、および紙袋への転換を促し、CO2削減を意識した取り組みを行っている。												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	社用車をハイブリッド車に変更した。また、社外研修参加や出張時には公共交通機関を利用している。									9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：有限会社　親和商事　郷土料理青柳

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		遺物混入防止対策として、厨房入室時には髪ネット着用と靴の履き替えを徹底している。また、厨房内細菌の定期的な検査を行い、害虫駆除定期点検も実施している。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		バリアフリーフロアを施工し、車いす用トイレを設置している。 また、階段はすべて手すりを設置している。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	提供する料理の食材は、地産地消を意識し仕入れている。特に、熊本郷土料理コースである熊本城本丸御膳においてはふんだんに熊本県産食材を使用している。アルコールも熊本県産酒も使用している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	店舗入口から各客室に至り、大部分で木を使用。カウンター材は銀杏の一本品、他に組子細工を多く取り入れ、内装材の木質化に取り組んでいる。							7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		熊本地震時には市役所、避難所、企業視施設などで、3週間の炊き出し活動を行った。人吉水害時には焼酎蔵を支援。コロナ禍の学校一斉休校時には店内を子供食堂として解放した。 自治活動や福祉活動、また、災害時には継続して対応できるよう取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		店内周辺の排水溝に逆流弁を設置し、電気コンセント設置場所も床上45cmに統一し水害対策を行っている。また、避難はしご訓練、避難経路確認訓練の担当者を決め避難訓練を計画的に実施している。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	熊本市ハザードマップを利用し、白川氾濫に備えて4階以上を避難所として活用し、6階は災害備蓄倉庫の機能を付している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	インターンシップ（ナイストライ）は4校から継続して受け入れている。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	若者の地元定着のため、採用は県内の高校の新卒者を採用している。				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●	熊本市内の小学校へ出向き、巻き寿司教室を行った。生徒たちが自分で巻いた寿司を食す体験から、一つ一つの食材の大切さを考えてもらうことや、好き嫌いをなくす取り組みを行っている。 今後も、農林水産業従業者の思いと、食材の大切さを伝える取り組みを行っていく。		2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

25　25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。